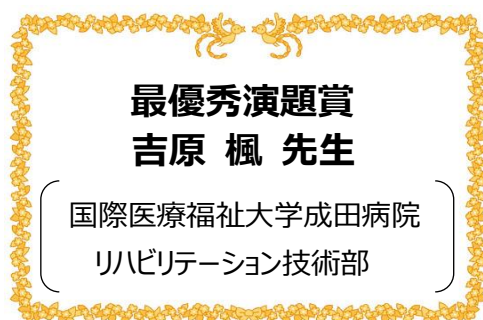


第 25-26 回合同千葉県理学療法士学会
優秀演題賞受賞者へミニインタビュー



昨年度学会で優秀演題賞を受賞されました先生方へミニインタビュー♪

受賞者の先生方がどのような研究を行い、発表を通じて学んだことや今後の抱負について直撃取材したいと思います。インタビューを通じて多くの刺激が得られればと思います。

第 1 回は演題名「特発性間質性肺炎患者の心機能と日常生活動作の関連性」にて最優秀演題賞を受賞されました国際医療福祉大学成田病院リハビリテーション技術部の吉原楓先生です！

吉原先生、最優秀演題賞おめでとうございます！今回受賞されました演題の概要を教えてください。

吉原先生

特発性間質性肺炎(IIPs)患者は、右心不全や肺高血圧症を合併すると運動耐容能や生活の質(QOL)が低下し、予後不良となることが報告されています。近年、IIPs 患者の心機能評価について、収縮機能は維持されるものの拡張機能低下が起こることが報告されています。そこで、IIPs 患者における日常生活動作(ADL)に関連する背景要因を調査し、特に ADL と心機能や肺高血圧との関連性を検討しました。

学会発表を通してご自身の学びにつながったことや、今後の抱負についてお聞かせください。

吉原先生

今回の学会発表は私にとって初めての学会発表であり不安も多くありましたが、より良い発表になるよう導いてくださった先輩方のお陰で研究の流れや研究発表について学ぶことができました。今後は、今回学んだことやいただいたアドバイスを今後の臨床や研究活動に生かしていきたいと思います。

吉原先生、丁寧なご回答を頂きありがとうございました。

今年度も多くの先生方にご発表頂けるよう、学会準備委員一同、様々な企画を検討し鋭意準備を進めております！

皆さまの学会参加、演題発表を心よりお待ちしております♪

